

令和4年度（R5への繰越分） 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実施状況と効果検証

No.	交付金 No	事業名	対象事業費 (単位:円)	うち交付金 (単位:円)	事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業の概要（①目的・②交付金を充当する経費内容・③成果・④事業の対象）	事業評価	今後の方向性	担当課
1	21	肥料価格高騰 緊急支援事業	3,220,027	3,220,027	R5.4.5	R5.12.28	①新型コロナウイルス感染下の中で肥料価格の高騰による農業経営への影響を緩和するため、化学肥料使用量の低減に取り組む農業者に対して、国・県の支援と協調し、肥料コスト上昇分の一部を支援する。 ②肥料高騰分に対する経費を交付対象経費とする。 ③【当年肥料費－（当年肥料費÷価格上昇率÷低減率）】×0.15（町負担） （104,034,742円－（104,034,742円÷1.4÷0.9））×0.15≒3,220,027円 当年肥料費内訳 秋肥：26,836,391円 春肥：77,198,351円 ④農業経営を行う者	肥料高騰に対する国・県支援分の残値を町が支援した。 成果・効果 当該年度生産者数470戸 過去5年平均収穫面積：1327ha 令和5年度の収穫面積：1366ha 過去5年平均生産量：71,180t 令和5年度の実産量：76,116t 評価 肥料高騰分を助成することで、生産者経営の負担軽減に繋がった。当該年度は過去5年平均より面積拡大、生産量増加という結果となり、経営悪化による離農はなかった。	各種事業を活用し、生産者の負担軽減に繋げるとともに環境負荷軽減のクロスコンプライアンスチェックシートを確認しながら肥料の適正利用、低減対策に取り組み持続可能な生産量の維持増加を促す。 令和6年度からは、化学肥料低減対策の実証（ほ場）も設置し、化学肥料低減に努める。	農業振興課
合計			3,220,027	3,220,027						